

導入事例 アラム株式会社

# 工業理化学用ゴム・プラスチック製品の豊富な品揃えで、お客様のものづくりと課題解決を支える

Client Profile

ARAM<sup>®</sup>

アラム株式会社

製造業

従業員数:55名

所在地 : 大阪府大阪市北区東天満2丁目4番12号

設立 : 昭和46年10月

資本金 : 5,000万円

事業内容: 工業理化学用ゴム・プラスチック製品販売



本社ビル

ゴム製品を取り扱う荒木ゴム商店として1948年創業。大学や研究機関などへの卸売販売を経て、現在では、工業、医療福祉、理化学機器、食品製造業など、幅広い産業界向けのゴム・プラスチック製品を多く取り扱っています。また、市場からのさまざまなニーズに応えるため、オーダーメイドのオリジナル製品の開発や、環境配慮製品のご提案など、時代に即したものづくりを支えています。

\*環境マネジメントシステム ISO14001取得済

今回、キヤノンのケーブルIDプリンターをどのように活用されているのか、導入の背景や現状について伺いました。

## 01 導入背景

### 医療機器内部のパーツの組み立てを受注したのがきっかけ

医療機器を製造されているお客様より、機器内部のパーツの組み立てを委託されたのが始まりです。機器内部は、多くの送液チューブで構成され、それぞれが90度に折れ曲がっていたり、湾曲したりと、複雑な構造なので、「設計図通りにできているか、チューブの行き先を表示する必要」がありました。さらに、機器に使用するチューブは外径Φ2mmと小径のため、わかりやすく表示を行うことも重要な要素でした。

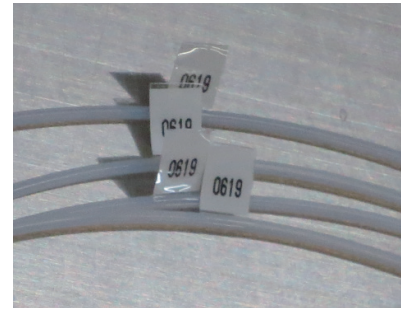
アラムの製品を使いながら、さらに正確に、効率的に組み立てることを考え、検証を開始したのが導入のきっかけです。



アラム株式会社  
東京営業所 課長 西門 洋一郎 氏

## 複数社のプリンターを検証した結果、一番使い易かった

最初キヤノンのケーブルIDプリンターを指定したのは、委託元のお客様でした。ラップアラウンドテープを使用して、印刷部を旗のように立たせることで、小径のチューブにも視認性の高いマーキングができます。業務を受託するにあたり、「業務効率」「費用対効果」などの観点より、複数社のプリンターを検証しました。結果、このような印刷ができるプリンターは少なく、使い易さや費用面でも優れていたキヤノンのプリンターを導入するに至りました。また、医療用機器に使用するため、メディアのケムシェルパが入手可能で、環境要因を確認できたのも導入の一因です。実際にプリンターを使ってラップアラウンドテープを印字し、チューブへのマーキング作業を行なっている「コニシセイコー」\*様へお伺いし、その作業現場を見学させていただきました。



### 電子・精密・医療機器の検査から組み立てまで一貫した品質管理で、産業分野に貢献 ～コニシセイコー株式会社～

1957年 精密分析天秤の製造販売を行う「有限会社小西精衡所」を京都に創業。通信機器、医用機器等の製造から、電子・精密・医療機器の検査、組み立てまで卓越した技術と高度な品質管理体制\*で、社会からのニーズに幅広く対応しています。

\*品質マネジメントシステム ISO9001/医療機器-品質マネジメントシステム ISO13485 取得済



コニシセイコー株式会社  
代表取締役社長 小西 義光 氏



コニシセイコー株式会社  
取締役 小西 由佳子 氏

コニシセイコー株式会社  
久御山工場: 京都府久世郡久御山野村東161-1  
URL: <https://konishi-seiko.co.jp/>  
TEL: 075-631-2795

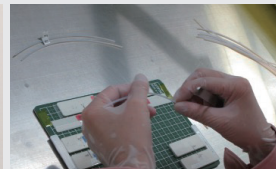
#### プリンターはどのようにお使いですか？

多い時は、一度に3,000から4,000枚のラップアラウンドテープを印字します。出力したテープは、熟練の作業者が、オリジナルの作業板にチューブをセットし、ピンセットを使ってラップアラウンドテープをチューブの指定の位置に貼っていきます。図面の種類は100種類を超えるほど。

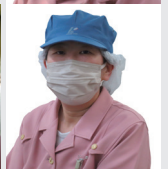
発注の内容によって、チューブの種類、長さ、マーキングの内容を変えて製作しています。月に数千個のチューブにマーキングをするので、常に業務効率化は欠かせません。



コニシセイコー株式会社  
製造2課 課長  
北住 昌一 氏



チューブにテープを貼って、  
マーキング作業している様子



## 03 導 入 の 効 果

### ラップアラウンドテープで 作業効率化とミスを防ぐ

今回MK5000を使用して、操作性も向上し使いやすくなったと感じました。印字スピードが早くなったことで、生産性も向上すると感じました。また、PCからの出力をする際に以前のモデルと同じデータがそのまま使えるため入替に関しても問題ありませんでした。機能面でもカットの深さ、強さを細やかにコントロールできるようになったようなので、より剥がしやすいうように調整できれば、作業効率アップにもつながりそうです。

今後は順次新機種に切り替えて、作業効率の向上を目指していきたいと思えます。

## 04 今 後 の 展 望

### ソリューション提案に役立っています

さまざまなチューブ径、印刷長のマーキングに対応できるのはキヤノンのラップアラウンドテープだけでした。チューブ径に関わらず、使用するメディアはラップアラウンドテープ一種類で済むので、在庫リスクを避けられるのもメリットです。また、チューブやパーツを数多く取り扱う中で、プリンターを使ったマーキングについて、お客様にソリューション提案する際に役立っているため、今後も様々なチューブに提案していく予定です。



ラップアラウンドテープ

+



MK5000

## ラップアラウンドテープに新対応

ケーブルIDプリンター

# MK5000/MK3000

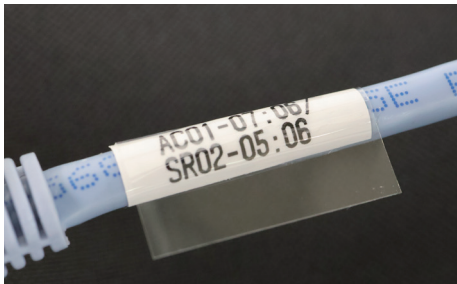
チューブ、電線、ケーブルなど、印字面を透明フィルムで巻き付けるタイプのマーキング用テープに印字可能。極細タイプのチューブや、LANケーブルなど、線番表示として幅広くご利用頂けます。

製品のホームページはこちら

[canon.jp/business/solution/pro-printer/cable-plate](https://canon.jp/business/solution/pro-printer/cable-plate)



耐久性のある透明PETフィルムにより印字文字を保護



細いチューブやケーブルには、旗折りすることで視認性を確保



Mk2600に比べ印刷スピードが  
あがり、作業効率UPを実現



8-150mmまで0.1mm単位で自由に設定できるテープ幅



複数行の印字も可能\*1



MK5000はPCからの出力に対応。  
さらに専用のPC接続アプリ\*2を  
使用することでデータの作成、編集、  
保存等が可能



\*1 文字の大きさを小さく設定する必要があります。詳しくは取り扱い説明書をご確認ください。

\*2 USBケーブルとパソコンに以下(MK5000に同梱のCDROM)に収録されている専用アプリケーションソフトウェア「MKデスクトップ・ユーティリティ」およびMK5000プリンタードライバー)のインストールが必要。(ホームページの商品サポートページよりダウンロードも可能です)

●Canon、Canonロゴはキヤノン株式会社の登録商標です。●本紙に記載されている会社名、商品名は、一般に各社の登録商標または商標です。●記載の内容は2023年7月現在のものです。●弊社の都合により予告なく変更させていただく場合がありますのでご了承ください。

製品に関する情報はこちらでご確認いただけます。



キヤノン ホームページ

[canon.jp/business](https://canon.jp/business)

キヤノン 導入事例一覧

[canon.jp/business/case](https://canon.jp/business/case)

●お求めは信用のある当社で